

皆さん、こんにちは。福田友子と申します。私は、国際家族計画連盟（IPPF）の東・東南アジア・大洋州地域事務局長をしております。私のユニバーサルヘルスカバレッジの経験は、約 15 年前、妊産婦死亡についての実際の話求めてラオスを訪れたときに遡ります。その訪問で、私は最近出産中に奥さんを失った男性に出会いました。彼が畑に出ていると、彼の奥さんが難産であると近所の人が彼を呼びにきたそうです。彼は家に急いで戻りましたが、最初にしたことは奥さんを病院に連れて行くのではなく、親戚のところにお金を借りに行くことでした。彼が奥さんを病院に連れて行くために必要な約 300 ドルを集めるのに、ほぼ丸一日かかったそうです。病院に到着した頃に奥さんは亡くなりました。医療サービスを利用するために金銭的に苦勞をした人に実際に会ったのはこれが初めてでした。

私は性と生殖に関する健康と権利の分野で 25 年間活動してきました。その間ずっと、私は NGO で市民社会と一緒に活動してきました。また、ユニバーサルヘルスカバレッジの政策提言とネットワークの一員としても活動し、ユニバーサルヘルスカバレッジの普及における市民社会としての役割について学び、考えてきました。今日は、私たちがすべき 3 つの重要な役割をみなさんに共有したいと思います。

1 つ目は政策提言です。様々な問題がある中、政府が国家予算を健康に優先するよう市民社会として声を上げる必要があります。私たちは政府に提言し、政府が自身の約束を果たしているのか確認する必要があります。2 番目の役割は、私たちは監視人となって、それが実際に実施され、本来あるべきように人々に届くことを確実にすることです。また、政府からデータ、報告書、財務報告書を手に入れ、約束どおりに実際に実施されていることを確認する必要があります。3 番目の役割は、市民社会が政府のサービスと協力し、ユニバーサルヘルスカバレッジの取り組みから誰一人取り残されないようにする必要があるということです。社会で実際に問題を抱えている人々を見つけることができるのは私たちです。私たちは、これらの人々が実際に利用できるサービスを提供し、汚名を返上し、保健サービスの利用における財政的困難だけでなく、心理的困難も克服することができます。

性と生殖に関する健康と権利は、女性のライフサイクルと人生行路を形作る根本的な健康問題であり、ユニバーサルヘルスカバレッジと SRHR は連携する必要があります。したがって、私は同僚と協力しながらユニバーサルヘルスカバレッジの達成に貢献できるように活動していきます。

若い人たちには、世界に出て、実際に世界のさまざまな場所で現地の生活を見て経験してもらいたいです。世界にはまだ多くの問題があり、ユニバーサルヘルスカバレッジは一日で、一夜で、または 10 年かかっても達成できるものではありません。ユニバーサルヘルスカバレッジが達成されたとしても、他に取り組む必要のある問題が常にあります。若者は私たちを次の段階に連れて行ってくれることでしょう。それは、若い人たちが今後 10 年の間にどのように行動するかにすべてかかっています。ユニバーサルヘルスカバレッジは、人権として取り組む必要がある根本的で重要な問題です。私は、みなさんがこの分野の仕事に興味を持ち、今後数年間にわたってこの分野について学び、経験してほしいと思います。ありがとうございました。